

NPO 雨岳文庫を活用する会

24年度定例総会開催

6月3日(日)午後2時から、山口家住宅 奥の間に於いて、NPO 雨岳文庫を活用する会の平成24年度定例総会が開催され、昨年度の事業報告・収支報告とともに、今年度の事業計画と収支予算が承認されました。

今年度の新たな行事(補助事業)

☆雨岳文庫の古文書調査

5月より、毎月、第二金曜日に開催。
当面は、「嘉永の大山二の鳥居の再建の記録」を読みます。

☆文化財ウォーク

「作助の歩いた道を歩く」

今年度から3年間で6回に分けて歩く予定です。

「山口作助の江戸出府日記」は、現在資料館で展示中です。

☆講演会

秋以降に開催する予定です。

*これらの事業は、文化庁補助事業(平成24年度から26年度までの3カ年)として行います。

☆東京農業大学委託オープンカレッジ

「自然にやさしい作物の栽培法と利用法を学ぶ」

期日	内容
4/14(土)	ナタネの管理作業、野菜の種まき
4/28(土)	菜花摘み、トウモロコシや枝豆の種まき
5/12(土)	お茶摘みと手もみ製茶
5/26(土)	花の種まきと苗の定植
6/9(土)	ナタネとオオムギの収穫、麦茶作り
6/23(土)	コムギの収穫、ヒマワリの種まき、ナタネの油搾り

*この事業は、「東京ガス環境おうえん基金」から助成を受けて行います。

雨岳文庫資料館 第4回企画展 (H25. 3. 31まで)

『旗本間部氏と地代官出府日記』～出府日記による、大山道検証～

- 旗本間部領、上粕屋(上粕屋村絵図—大山道、村の生活)
- 間部領地代官山口作助の江戸出府日記(大山街道柏尾道の道中)
- 江戸の間部家(江戸のお屋敷の地図、間部家の生活)

【入館料】

	一般/一人
資料館 + 山口家住宅一階	300円
資料館 + 山口家住宅一階 + 二階	500円
資料館のみ	200円 ⇒ 100円

※団体(20名以上)・・・各場合とも一人50円割引

※中学生以下は無料

※原則的に、毎週日曜開館

※山口家住宅主屋も開館していません

※予告なく休館する場合がありますので、出来れば事前にお問合せください

0463-95-0002
(山口)

その他の事業

☆子どものための茶道教室

雨岳文庫離れの茶室を使って、子どもを中心にしたお茶のお話やお茶道具のお話、お茶のお手前の見学とお茶やお菓子の頂き方の実習を行います。

(期日) 10月21日(日)

(場所) 雨岳文庫 離れ

(対象) 茶道に興味のある子ども&その家族 (15人程度)

☆収穫祭

雨岳文庫の畑(山口家住宅周囲)で芋掘りや栗拾いをした後、どんぐりのお話、どんぐり細工、竹とんぼ等の竹細工などをして遊びます。

お昼ご飯は、みんなで楽しみながら食べます。(昨年度は、栗の炊き込みご飯や芋のお菓子などが出ました)

(期日) 11月23日(金)

(場所) 山口家住宅等

※各事業の詳細や応募方法は、ホームページ (<http://www.ugakubunko.com>) 等で、今後お知らせします。

問い合わせ先：0463-95-0002 (山口)

建物見学会…11月4日(日)…予定

今年度も、伊勢原市教育委員会文化財課主催の「建物見学会」が11月に行われる予定です。雨岳文庫も、山口家住宅主屋一階、二階等を開放・公開します。(資料館は有料)

第2回古文書調査会 (6/8)

(講師) 川島敏郎氏

(幹事) 田中米昭氏、宮崎武雄氏

(参加者) 21名

(内容) ・前回の復習「七五三引石鳥居願書 嘉永4年」
・鳥居上棟の幣に書かれた文章の解説 他



第5回東京農大オープンレッズ (6/9)

(講師・内容)

①藤垣順三氏 (元東京農大教授 育種学)

・麦の種類、麦を使った輪作体系、麦類の分類と用途

②田所忠広氏 (元東京農大教授 食品化学)

・食品としての大麦、「健康」の理解とアプローチ、健康をパートナーにする食生活

(受講者) 27名



梅をもいで、梅を漬けるお話を聞く会 (6/9)

《主催》 杉並区立堀之内小学校 学校支援本部&PTA

(内容) 梅もぎ

梅の利用の話: 梅酒、シロップ漬、醤油漬(梅を使った酢醤油)、味噌漬(梅利用の酢味噌)

(参加者) 10家族、29名

(スタッフ) 農大関係4名

雨岳文庫クラブ7名